

TAKE FREE!
ご自由にお取りください

ボランティア・市民活動情報誌 **コンボ**



10月号

2016 vol.210

communication x voluntary

普段着のわたし、ステキにいいこと

特集

特集 OCVAC 30 周年記念
地域家族・居場所づくり

- 05 訓練や共有で備える
- 09 情報マーケット
ボランティア募集、イベント・セミナー・
講座情報、助成金などの情報
- 12 海外から日本へ 大阪の高校に学ぶ若者たち
- 13 サロン開催情報
- 14 社会貢献トピックス



特集

OCVAC 30周年記念

地域家族・居場所づくり



森之宮第2団地集会所。赤ちゃんを抱っこすると自然に顔がほころびます(写真上)

コミュニティカフェ「花しようぶ」で昼食をとる高齢の女性とボランティア(写真下)

2017年3月、大阪市ボランティア・市民活動センター(Osaka City Voluntary Action Center)は開設30周年を迎えます。2月には記念シンポジウムを開催し、今日のボランティア・市民活動のあり方を市民のみなさんと一緒に考えます。情報誌COMVOではシンポジウム開催まで、大阪で行われている様々なボランティア・市民活動をテーマごとに紹介していきます。

幼老共生ケアを目指して 団地の寺子屋

団地の居間

JR 森ノ宮駅から徒歩 10 分。
 UR 森之宮第 2 団地 第 1 集会所
 で行われている、手作りの看板が目
 印の「団地の寺子屋」。広々とした
 玄關を入ると中から笑い声が聞こ
 えてきます。昼食後ということだ、

お茶を飲みながらほっこりしている
 人がいました。別室では、すでにカ
 ラオケが始まり、のど自慢たちが集
 まって熱唱中。生後 5 ヶ月の赤ちゃん
 を抱いたお母さんが入ってくる



佐野さん、岡田さん、松井さん(左から)

「よう来たね」と大歓迎されています。
 さらに小学生もゲーム機を持っ
 て時間差で涼みにやってきました。
 こうして午後 3 時までの間、幅広い
 世代の人が出たり入ったり。各々が
 自分の好きなことをしながら同じ
 空間でくつろいでいます。まるでこ
 こは、団地の中にある大きな居間の
 ようです。

志の同じ メンバーの集い

大阪市立森之宮小学校の生涯学
 習ルームの「傾聴教室」のメンバ
 ーが、高齢者への活動を模索してい
 たときに、地域包括支援センター主
 催「認知症予防教室」の平成 26 年度
 の修了者と出会い、住民の高齢化や
 孤立死についての認識が一致し、「団
 地の寺子屋」実行委員会が立ちあ
 りました。

代表の佐野喜子さん、副代表の
 松井宏悦さん、事務局の岡田裕さ
 んはそれぞれに違う分野で活動し
 ていました。団地という住環境の中
 で、「幼老共生ケア」の実現に向け、



森之宮保育園(写真下方)は集会所のすぐ近くにあり日常的に行き来しています

住み慣れた地で最期まで「ともに生
 き、ともに暮らす」がふるさと森之
 宮」という大きな目標で一致団結し
 ました。

「何十年暮らしていても、隣との
 会話もない。そんな閉じこもりがち
 だった人が、ここに来てくれるよう
 になりました。年々人が増え、寺子

地域家族・居場所づくり

家族や地域住民の人間関係の希薄化と孤立化が進み、医療や介護の在宅化の傾向が
 顕著になっています。そんな中、シニア層の多くは「歳をとっても子どもの世話にならな
 い」「子どもに迷惑をかけたくない」という思いから老夫婦・ひとり暮らしという形態を
 とるようになりました。

このようなライフスタイルの変化により、地域の中でお互いの存在を意識し合い、助け
 合える「人間関係づくり」、何らかの役割がある「存在感」、趣味や学習の場、コミュニティ
 カフェなど誰もが集える「居場所」が必要とされています。『地域家族』とは、この 3 つの
 要素をもち、共助をベースとした家族的な役割を担っていくものです。

※岩見太市著「地域家族の時代」参考

屋の運営をお手伝いしてくれる世
 話人は 20 人程になりました。森之
 宮保育園と交流しているので道で
 会おうと『てらこやさん』と子ども
 たちから声をかけられます」とほほ
 笑む佐野さん。世話人は、それぞ
 れの得意分野を生かし、大工仕事、紙
 芝居、花育など地域の中で活躍で
 きる場が増えてきました。

安心して 住み続けられるまち

森之宮地域では近年、0、1 歳の
 人口が増え、森之宮小学校の全児
 童数を超える程になっています。ま
 た今年から、集会所を午後 6 時借
 りることができるようになったのを期
 に、子育て世代をサポートするた
 め、毎週金曜日「団地の寺子屋 子
 育てサロン」を始めました。「認知症
 対策で回想法とか色々あるけど、

みんなの居場所「団地の寺子屋」

〒536-0025

城東区森之宮2-1-101-104(代表宅)

TEL 06-6962-0061(代表宅)

Mail yutac2000@ybb.ne.jp(事務局)

赤ちゃんを抱くことが、どれほど素晴らしいことか。子どもの笑顔はいいと言われているが、実際やってみるとお母さんもほっこり、こうして誰かが抱っこしてくれるだけで助かると喜んでくれます」

と赤ちゃんを見つめ目を細める松井さん。

2、3年前に夫婦で老人ホームに入ることに決めた、と心を閉ざしたご夫婦がいました。でも、ここで安心して住める安心して死ねる、安心して住み続けられるようなまちづくりをしようと思つてると伝えると「よっしゃ頑張ろう」と喜ばれた。今ではデイサービスなども利用して、最期までここで暮らすと言ってくれています。

シニア世代も若い子育て世代も赤ちゃんもみんなが混ざり合った地域家族を目指しています。

ときどき「記者」廣瀬朋美

地域に頼れる関係を

多様な人が暮らす集合住宅

旭区太子橋、ワンルームマンション「フェリスモンテ」のエレベーターをあがると淀川が見渡せます。「以前は、ここから水都祭の花火が見えてたのよ」と特定非営利活動法人フェリスモンテ理事長の山王丸由紀子さん。1999(平成11)年、父親の介護経験から家庭的な環境の居場所をつくりたいと、50、60歳代の主婦や介護の経験のある人が中心となつて地域高齢者のおしゃべりの場「おたつしゃサロン」が始まりました。その5年後には、念願だったグループハウス「高齢者贈いつき下宿」を開設。障がい者、子どもと対象が



厨房で味噌汁を温める赤木さん

特定非営利活動法人 フェリスモンテ



山王丸さん、隅田さん(左から)

広がり配食サービスやデイサービスなど旭区と生野区に事業所を拡大していきました。

みんなが気軽に 集まれる場所

フェリスモンテ1階、軒先に赤ちようちんがかかるコミュニティカフェ「花しようぶ」。厨房で味噌汁を温めていた赤木正弘さん(49)は、阪神・淡路大震災の時に大阪に出て来て、土建業をしていましたが腰を痛め仕事ができなくなりました。そんな時、縁あってフェリスモンテへ来ることになりました。配食サービスの配達をしていました。今では、調理の経験を活かして花し

特定非営利活動法人 フェリスモンテ

〒535-0001 旭区太子橋1-23-15

TEL 06-6958-0011

Mail ota-sha@viola.ocn.ne.jp

うぶの厨房を任せています。こは、マンションの食堂であり、地域に対しての窓口でもあります。

「花しようぶがオープンした頃からたまに顔を見せられていたご近所の方が昨年、体調を崩しました。ここでも何年か続いているので、その人のしんどくなったタイミングの時に関わることができました。同じように、今小学生の食事をしている週1回ですが、遊んだり話を聞いています。誰かが家族の全ての機能を賄えるわけじゃないけど、一部分の役割はできるのかもしれない。もし、これから人生でしんどい状況になった時に、頼れる大人がいるんやと思ってもらえたら」と事務局長の隅田耕史さん。年月を通して変化していく、一人ひとりの人生に寄り添ってきたフェリスモンテ。山王丸さんと隅田さんの「あの人は最近どうしてる？」という会話の中に、家族のような心の結びつきを感じました。

OCVACリレーコラム

大阪市ボランティア・市民活動センター(Osaka City Voluntary Action Center)の開設30周年を記念して、今号より、センターにゆかりの深い方からのコラムを掲載していきます。



「主体と協働」先駆のボラセン

大阪市立社会福祉センターの2階、午後から日差しが燦々と降り注ぐボカボカの小部屋、そこが当時の「大阪市ボランティアセンター」でした。1990年初頭、区社会福祉協議会の多くは法人格を取得する前で、もちろんボランティアビューロー也没有。早いもので、あれから30年近く。市内のボランティア活動をめぐる状況は常に多くの課題があり、今もそれは続いています。しかし、全区にボランティアビューローやセンターが開設され、市民の皆さんもボランティア活動にずいぶん気軽に参加できるようになりました。すごいことです。当時は、介護保険もなく在宅福祉サービスがまだまだ脆弱な時代にあって、「ボラセン」は一条の光だったように思います。私自身、コーディネーターとして初めてでわからないことだらけで、先駆者である大阪ボランティア協会のメンバーに色んなことを学ばせていただきながら、日々悪戦苦闘していたことを思い出します。



1990(平成2)年「ふれあい広場」から(右、岩本さん)

また「多様な主体との協働」と言われる現在ですが、市社協ボラセンでは、間口も広く、さまざまなコーディネートを通して、早くから実践されていました。これらの出会い、当時の日々が今の私の土台を作っていると言っても過言ではなく、それほど私にとってボラセンは大きな存在です。

今後は市民の皆さんの声を力に社協の強味を活かしながら、一層発展していったいと思う今日この頃です。



いわもと ゆうこ
岩本 裕子さん

1988(昭和63)年8月より大阪市ボランティアセンター勤務。その後、東住吉区ボランティアビューローの開設と共に同区ボランティアコーディネーターを務める。現在は、関西学院大学人間福祉学部非常勤講師。

西淀川区ボランティア・市民活動センター

企業と福祉の出会いの場、「にしよどリンク」を開催中！

西淀川区ボランティア・市民活動センターでは、2ヶ月に1度、区内外の様々な業種や団体が地域とつながり、絆を深めることを目的とした交流会「にしよどリンク」を開催しています。8月26日の交流会では、初めに企画・運営スタッフの多田修さんから「異業種・異団体相互の結びつきを育む場、福祉の情報交換とおし社会貢献する場、自宅や職場・学校の次に自然と来たくくなるような心地よい場所であるサードプレイスとしての役割、この

3本柱を軸に運営したい」という説明がありました。

前半は、入浴サービス(株)の吉見浩一さんによる趣向を凝らしたプレゼンテーションに、参加者からの質問が絶えません。会場内に浴槽を運び込み、モデル役のスタッフが入浴し



入浴介助の実演に参加者は興味津々

てサービスを実演。洗身にはタオルを使わず、直接手を使って洗う様子が目を引きます。スキンシップによる癒し効果や皮膚疾患が確認しやすいといった利点があるそうです。

後半のグループワークでは『一緒に考えよう!ここが惜しいかな?西淀川』をテーマに、西淀川の潜在的なニーズを掘りさげます。「住民が増えているのにスーパーや病院が少ない!」「外国人居住者が多いのでグローバルな文化交流をしたい」など、盛んな意見が飛び交い福祉課題を考えるきっかけとなりました。共有したニーズをもとに、今後の展開に期待できます。

ときどき「記者」岸本英治



今回は記者デビューの岸本さん

災害時のボランティア活動を実感

都島区社協

「浸水で泥だらけになった畳を動かしてください!」「泥で車いすが動きません」指示書に書かれたリアルな言葉に緊迫感が増します。

8月27日、都島区民センターで、災害ボランティアセンター運営訓練が行われました。訓練の設定は、集中豪雨

から5日目の都島区。被災者からの相談が続々と持ち込まれる中、多くのボランティアが集まって来た想定です。ボランティアと被災者を結びつけ、円滑にボランティア活動を進めることが今回の訓練の大きな目的です。

ボランティア役のほとんど



区内の福祉会館や特別養護老人ホーム、NPO法人が運営する障害者相談支援センターと連携し、具体的な被災者ニーズを想定。ボランティアは実際に資材をそろえ、地図をもとに活動場所に向かいました

有で備える

は、募集により集まった区民。真剣に訓練に取り組むうちに、参加者の繋がりが深くなりました。この繋がりは、災害時の混乱の中で、心の支えになるに違いありません。訓練終了後、「知らない家に



ボランティア30人、ボランティア受入先の協力者13人、都島区社協の職員26人、その他関係団体からの見学者を合わせ109人での訓練となりました。最後は参加者全員で訓練の振り返りを行い率直な意見交換がなされました

行くことに不安感がある。相手にボランティアだと信用してもらおうための事前連絡、書面等が大切」という参加者の声がありました。

訓練には、他区の社会福祉協議会等の参加も多くあり、災害ボランティアの力を十分に生かすため、このような訓練の今後の広がり期待できます。

ときどき 記者 塩見恵美

都島区社会福祉協議会の職員が中心となり、ニーズ受付班、コーディネート班、車両資材班などに分かれて、ボランティアを受付から活動場所までスムーズに送り出せるか確認しました



被災地支援活動から学ぶ

大阪市
社協

8月30日福島区民センターで、大阪市社会福祉協議会と各区社会福祉協議会との「熊本地震支援活動報告会」を開催しました。大阪市区社協では、先遣隊を含め、延べ28人の職員を熊本県内に派遣し、同県菊陽町と熊

本市において、災害ボランティアセンターの運営や、住民宅を訪問してのニーズの聞き取り調査などの支援活動を続けてきました。7月17日に派遣活動が終了したのを受けて、被災地での支援状況や、今後、大阪で発生が心配される大規模災害に備えた取り組みを考えるため開催されました。参加者は64人。派遣職員からは、緊急対応期、

生活支援期のそれぞれの特徴で災害ボランティアセンターがどんな機能を持ち職員がどう動いていたか、派遣職員間の引継ぎの方法や被災者のニーズをいかにして把握していたかなど、現地での工夫や課題が報告されました。

訓練や共



大阪市・区社協の職員が丸となり災害支援や防災・減災活動に取り組みます

その後、グループにわかれて意見交換をする中で、被災地支援を行うために、職員を送り出す体制づくりや、大阪での災害に備えた、職員研修の強化などの重要性が話されました。また、住民が主体的に助けを求める力、いわゆる「受援力」の強化を地域住民とともに養っていく必要があるという意見が出されました。

今後、各区社協を中心に災害ボランティア養成講座や災害ボランティアセンター設置・運営訓練などが予定されています。



後半はワークショップ形で意見を交換

参加費：無料 定員：20人

(申込先着順・高校生以上)

日程 9月24日(土)午後2時～5時

会場 大阪市ボランティア・市民活動センター会議スペース
(天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1階)

申込み 電話・FAX・Eメールにてお申し込みください(担当：荒野)
連絡先は下記参照

主催 市民フォーラムおおさか
大阪市ボランティア・市民活動センター



ポウサイボードゲーム「いえまですごろく」

今回は、ポウサイボードゲーム「いえまですごろく」体験と、避難所運営ゲーム「HUG」のカード内容検討を行う予定です。皆さんのご参加をお待ちしています。

第3回

防災カードゲーム研修会を
開催します



今回レポーターの宮武さん

こんにちは、「閃き塾2016」レポーターチームです！
6月に開講してから「みつめる」「しりあう」「えがく」の
プログラムを終え、7～8月はフィールドワークとして、
塾生それぞれのテーマ実現のヒントを掴むため、多様な
現場の先駆者へリサーチインタビューに行きました。
Fさんのテーマは「引きこもり傾向の子どもに夢と希望を
与えたい」。そこで「スゴイ！ヒキコモリ集団」と自称す
る、ひきこもりとその家族の自助団体「NPO法人わかも

の国際支援協会」（中央区）をリサーチ。「『違い』を価値に変える」という理念の
もと、自助精神を大切に活動し、さらに自助グループ形成マニュアルを作成す
るなど、人を応援する優しさに驚いたそうです。また、Aさんのテーマは「プレ親（お
や）支援」。妊娠・出産応援サークル「いのちの根っこ」（生野区）を訪れました。自
身とまさに同じ問題意識を持つことに感動し、子どものよりよい未来のためにプレ
親支援が大きな意義を持つと実感できるリサーチとなりました。他に「NPO法人
DDAC（発達障害をもつ大人の会）」（北区）、「ひとしごと館（NPO法人
Co.to.hana）」（浪速区）、京都市「Deまち（株式会社応用芸術研究所）」、豊中市
「TIFAカフェ・サバナ（NPO法人国際交流の会とよなか）」など、テーマに合わせ
多様な現場を訪問。活動の知恵に加えて、情熱や人生のヒントもいただきました！
「自分プロジェクト」最初の一步を踏み出すため、塾生たちの挑戦は続きます！
（5期生・宮武由佳）

※訪問させていただいた先駆者の皆さま、温かいご対応ありがとうございました！現在、5期生はフィールドワークで得たヒントや
洞察を手がかりに、これから取り組む「自分プロジェクト」の企画立案に向け奮闘中です。次号の塾生レポートを、お楽しみに！



「NPO法人DDAC」代表・広野さん（右から2人目）、
事務局長・北村さん（右端）と。「障がい」と「健常」の境目を
ぐちゃぐちゃにされたワクワクする時間でした！



外国人シェフの日替わりランチを提供する「TIFAカフ
エ・サバナ」。外国人のための無料相談も実施。

桃山学院大学社会学部 50周年記念シンポジウム

大阪市ボランティア・市民活動センター 30周年記念シンポジウム

自閉症と豊かな暮らし ～キャンプ・ロイヤルから学ぶ～

※「キャンプ・ロイヤル」とは、アメリカノースカロライナ自閉症協会が運営している、世界で1番大きな自閉症のある
人たちとその家族対象のキャンプ場です。1972年から40年以上キャンプ事業を展開しており、自閉症のある人
がキャンプをするための配慮と工夫等、学びがたくさんあります。参加者の成長の場、ご家族の情報交換・レスパ
イトの場としての魅力を知り、キャンプ運営やみんなが生活しやすい社会環境づくりについて学びます。

講師：セラ・ゲージ氏 ノースカロライナ自閉症協会「キャンプ・ロイヤル」プログラムディレクター
コーディネータ：石田易司 桃山学院大学副学長 社会学部教授 NPO法人キャンピングスーパバイザー

日 時 10月27日（木）午後6時半～8時（6時15分～受付開始）

会 場 大阪府立男女共同参画・青少年センター ドーンセンター特別会議室
（中央区大手前1-3-49）

参 加 費 500円（学生無料）

※参加費は、当日受付でお支払ください。また学生証を受付でご提示ください

定 員 100人

申込方法 氏名、所属、住所、電話番号、FAX、E-mailを記入の上

①FAX、②E-mail、③往復はがき（はがき1枚につき1人の申込）にて
右記の連絡先までお申込みください。

桃山学院大学
社会学部社会学科
竹内靖子研究室
〒594-1198
和泉市まなび野1-1
TEL (0725)54-3131
FAX (0725)54-3203
E-mail yasuko@andrew.ac.jp

申
込
問
合
せ

主 催 桃山学院大学社会学部 企画・運営 桃山学院大学社会学部社会学科 石田ゼミ・竹内ゼミ

後援・協賛 朝日新聞厚生文化事業団、毎日新聞社会事業団、産経新聞厚生事業団、大阪市ボランティア・市民活動センター、
大阪手をつなぐ育成会、大阪府キャンプ協会、NPO法人キャンピング（ご後援・ご協賛依頼予定）

突撃取材のコーナー Season II

「“ボラ基金”助成団体へ 突撃取材！」

福祉ボランティア活動がより
充実したものになるように、
平成27年度“大阪市ボラン
ティア活動振興基金”を助成
された団体を紹介します

心む人形劇『ぐるーぷ ぬ!』(浪速区)

図書館、子育てイベント等で年間30回、人形劇の公演をしている『ぐるーぷ ぬ!』は、代表 坂口真子さんをはじめ難波元町小学校の元PTAの女性6人で構成しています。共通点の多いメンバーは、縁あって浪速図書館で「絵本の読み聞かせ」ボランティアを始めました。阪神・淡路大震災で、避難所を慰問した時に、人形を手にした子どもを見て「子どもたちは人形に癒され、助けられている」と感じたことをきっかけに、学生時代人形劇サークルに所属していた坂口さんの呼びかけのもと『ぐるーぷ ぬ!』が誕生しました。今年グループ結成21年目を迎え、大阪を飛び出すほどの人気ぶり。

脚本はオリジナルで、1作完成するまでに2年から3年かかります。人形、大道具小道具は全て手づくりです。おしゃべりする人形に相槌をうつ子どもたち。乳幼児から小学生まで毎回、異なる反応があります。子どもと一緒に物語が進んでいるとわかる時が嬉しい瞬間です。技術を高め、子どもたちに「夢」を届けたい!情緒豊かな子に育ってほしいという願いで演じています。

ときどき“記者”古川繁美



コミカルに動く人形に見入る子どもたち



坂口さん、渡部さん、耳さん(左から)

出演予定
10/1(土) 西宮酒蔵ルネッサンス2016
10/29(土) 午後2時～ 生野図書館
10/30(日) 午後2時～ 浪速区図書館

COMVOネット登録団体「ぐるーぷ ぬ!」で [検索](#)

お知らせ

本の貸し出しが始まったよ!

9月1日(木)から大阪市ボランティア・市民活動センター内の「ふらっとフットまちライブラリー@OCVAC」の本の貸し出しが始まりました♪
本を借りるには、まず会員になってください。会費・利用料ともに無料です。くわしくは、担当(修田・松田・市居)までお気軽にお問い合わせください。

カードはこれ!



図書館員さんデザイン
の会員カードだよ!

利用時間 月～金 午前9:30～午後8:00
土曜日 午前9:30～午後5:00
休館日 日・祝・国民の祝日・年末年始
問い合わせ 大阪市ボランティア・市民活動センター
(天王寺区東高津町12-10)
TEL、メールアドレスはP14をご参照ください

そうだ!
まちライブラリーへ
行こう!



※まちライブラリーとは
まちのカフェやギャラリー、オフィスや住宅、お寺や病院などの一角に共通の本棚を置き、そこにメッセージ付の「本」を持ち寄り、交換しながら「人」の縁を紡いでいく市民活動です。公共の図書館と違う点は、イベントを通じて、市民から思いのこもった「本」の寄贈を受ける所と「本」を通じてワイワイ賑やかに話ができる所です。

『たのしくFUMKYにごみ拾い』 清掃ボランティア募集

大阪海さくら

単 土日祝

<http://www.o-umisakura.com/>

大阪を中心に海をきれいにするために、毎月の淀川河川でのごみ拾いや、アマモを増やすための活動を行っています。10月は「ビーチサッカーフェスティバル2016」との合同開催で貝塚市の「二色の浜」でのごみ拾いを行います。グループでの参加はもちろん、おひとり様での参加も大歓迎です。手ふらでふらりと立ち寄りくださいませ!

日程 ①9月18日(日) 集合時間:午前10時
②10月16日(日) 集合時間:清掃開始時間(午前10時)前に集合ください
集合場所 ①伝法公園(此花区伝法3-14)※阪神なんば線「伝法」駅下車徒歩5分
②二色の浜海岸(貝塚市澤871)※南海本線「二色浜」駅下車徒歩15分程度
人数・条件 どなたでもご参加できます 汚れてもよい服装でお越しください
※トング・重手・ゴミ袋はこちらでご用意しています
申込方法 お申込み不要にて、現地に集合してください

お問い合わせ先 お問い合わせフォーム
(<http://www.o-umisakura.com/contact>)からお願いします。

『第17回 天満音楽祭』 ボランティア募集!!

天満音楽祭 実行委員会事務局

単 土日祝

<http://ten-on.jp/>

天満音楽祭は実行委員会メンバー、そして多くのボランティアの皆さんの協力で運営されています。音楽好きな人、天満が好きな人、イベント・お祭りが大好きな人、是非ご協力ください。

活動内容 前日準備 10/1(土):メイン会場および周辺会場の設営作業など
当日作業 10/2(日):グッズ販売・観客整理・会場設営など
会場撤収 10/2(日):ステージの片付け、清掃など
※会場撤収については当日のみの参加でもOK! それ以外の活動については、事前オリエン(9/22(木・祝))に参加いただく必要があります

場所 メイン会場のOAPタワー(北区天満橋1-8-30)及び周辺会場 **人数・条件** 18歳以上

申込方法 HPの「ボランティアの申し込みフォーム」よりお申し込みください。後日、事務局からメールまたは、お電話でご連絡させていただきます

お問い合わせ先 TEL 06-6351-3450 FAX 06-6358-1040
Eメール info@ten-on.jp

「スポーツフェスタ2016 ボーリング」 ボランティアさん大募集!

社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会

単 土日祝

<http://www.osaka-ikuseikai.or.jp/>

知的障がいのある人のスポーツイベント(ボーリング)を開催します。参加者のシューズの履き替えや、ゲーム進行の見守り、投球時の補助等をお願いします。

日程 10月15日(土)午前12時30分～午後4時30分
10月16日(日)午前8時30分～午前12時30分
場所 新大阪イーグルボウル(淀川区宮原4-3-9)
※JR「新大阪」駅より北西へ徒歩10分 1階ロビーに集合してください
人数・条件 体力に自信のある人ならどなたでも 1日のみの参加も可
※交通費・昼食の提供はございませんのでご了承ください
ボーリングシューズ代は負担します

申込方法 電話・FAX・Eメールにてお申込みください※住所・氏名・連絡先をお知らせください

お問い合わせ先 TEL 06-6975-3370 FAX 06-6975-3350
Eメール s.itou@osaka-ikuseikai.or.jp

“わくわく”のお手伝い! この指とまれ!!!

有志団体ぱずる

単 総 土日祝

知的にハンディのある人が水族館や動物園などに、「わくわく」してお出かけするための外出サポートをお手伝いしてくれる人を募集しています。

日程 基本的に日曜日です(お出かけの依頼が無い場合もあり)
場所 お出かけ先によります(関西一円)
人数・条件 年齢・性別、ハンディや資格の有無など全く問いません
「これからやってみたい!!!」と思われる人 大歓迎です!
お出かけにかかる交通費や入場料の負担はございません

申込方法 まずは電話・Eメールにてお問い合わせください

お問い合わせ先 TEL 090-3615-0979
Eメール pazuru0731@gmail.com (担当:かりやま)

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

ボランティア募集などの情報
イベント・セミナー・講座などの情報
その他、助成金などの情報

情報 マーケット

詳しくは
お問合せ
ください

『参加してみたい!』と思ったり、内容について聞いてみたいことがあれば、各団体まで直接『コンボを見て』とお問合せください。

～みんなが主役でランナーを支えます～ ボランティアSTAFF募集中!

Fun・Running関西運営事務局

単 土日祝

<http://funrunkansai.com/>

明るく元気なボランティアSTAFFを募集中です。ご参加されるランナーの皆さまと共に笑顔にしましょう!当方が主催するマラソン大会等の受付業務、コース誘導、エイド業務などをお願いします。

日程 大阪城公園定例計測会: 10/15(土)・11/23(水・祝)・12/17(土)
第4回大阪食い倒れロギング大会: 10/15(土)
第6回長居公園ふれあいマラソン: 10/22(土)
りんくうせんなんロギング大会: 11/5(土)
OSAKA りんくうビーチサイドマラソン: 11/13(日) など

人数・条件 どなたでも 昼食・交通費支給

申込方法 HPのボランティアSTAFF登録フォーム(<http://funrunkansai.com/page28>)からご協力いただけるイベントを選択し、登録フォームをご記入のうえ、送信してください

お問い合わせ先 TEL 06-6755-4166 Eメール fun2_running@yahoo.co.jp
※土日祝休み 営業時間: 正午～午後7時 留守の場合はメッセージを残してください

「病院ボランティア募集説明会」 参加者募集!

公益財団法人 日本生命済生会付属日生病院

総 平日

<http://www.nissay-hp.or.jp/>

「病院ボランティアはどんな活動をするの?」ボランティアを始めてみようと思われる人を対象に、活動内容など詳しく説明します。※都合の悪い人には個別説明も実施していますので、お気軽にご連絡ください

日程 10月18日(火) 午後1時30分～3時

練習場所 日生病院(西区立売堀6-3-8)※地下鉄「阿波座」駅⑥番出口より徒歩3分

人数・条件 心身ともに健康な16歳以上の人

申込方法 電話・FAX・Eメールにてお申込みください
※住所・氏名・連絡先をお知らせください

お問い合わせ先 TEL 06-6543-3581 FAX 06-6543-3418
Eメール pts@nissay-hp.or.jp (担当:あったかサポートセンター)

第31回どんぐりまつり ボランティア募集

城東どんぐりまつり実行委員会

単 土日祝

自然とのふれあいを提供する子ども向けのお祭りです。工作やゲームのコーナーを手伝うなど、イベント全体を一緒に盛り上げてくださるボランティアを大募集です!!

日程 11月3日(木・祝) 午前8時30分～午後2時ごろ(雨天の場合は中止)

集合場所 南関目公園(城東区関目2-4)※京阪電車「野江」駅より徒歩15分

人数・条件 高校生以上で子どもが好きな人 男女問わず
※昼食(弁当)はご用意いたします

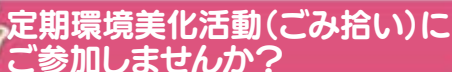
申込方法 電話・Eメールにてお申込みください

お問い合わせ先 TEL 06-6935-8386
Eメール sidoro@ray.ocn.ne.jp (担当:黒坂・藤田)



こどもたちとの関わりを様々な形で楽しんで体験してみませんか？

○ 継 平日









单 平日

「ユニセフチャリティバザーOCAT2016」開催

大阪ユニセフ協会

<http://www.unicef-osaka.jp/>

バザーの収益金は全てユニセフ(国連児童基金)に送付します。あわせてバザー提供品の募集もいたします。世界の子どもたち笑顔のために、あたたかいご支援をお願いします。※写真展も同時開催

日程 10月15日(土) 午前10時～午後4時(雨天決行)

場所 OCATビル 地下1F ポンテ広場(浪速区湊町1-4-1)
※JR大和路線「難波」駅すぐ 近鉄「大阪難波」駅より徒歩3分

人数・条件 参加無料 ご自由にお越しください

申込方法 お申込み不要

お問合せ先 TEL 06-6645-5123 FAX 06-6645-5124
Eメール un@unicef-osaka.jp (担当:小山)
※日・月・祝以外の午前11時～午後4時の間でご連絡ください

「企業・NPO交流会 in Fukushima」 「災害時に企業・NPOができる取り組みについて」

福島県社会福祉協議会

<http://fukushima.kusyakyu.or.jp/>

大規模災害時における被災者支援は、行政や関係機関のみならず、多様な市民セクターや企業・団体などの広域的かつ効果的な連携が必要です。平時より互いの活動を知り、災害に対しての取り組みや課題を共有しながら「顔の見える関係」を構築していくことを目的に開催します。

日程 10月12日(水) 午後1時30分～4時(受付:午後1時～)

場所 福島県役所 6階大会議室(福島県大開1-8-1)

人数・条件 定員:50人(1組織2人まで) 申込先着順 参加費無料
対象:福島県内及び近隣にある企業・NPO団体の人

申込方法 FAXにてお申込みください ※住所・氏名(フリガナ)・電話番号をお知らせください

お問合せ先 〒553-0001 福島県海老江6-2-22
TEL 06-6454-0531 FAX 06-6454-6331

はたらくゼミ No.3 ～センスアップ!大人の雑談力～

大阪市若者自立支援事業 コネクションズおおさか

<http://www.connections-osaka.com>

ネタ探しなど、雑談の楽しみ方をレクチャーします。オンにオフに、人を惹きつける会話力を磨きませんか?

日程 10月20日(木)・27日(木) 午後7時～9時

場所 弁天町ORC200生涯学習センター 第3研修室
(港区弁天1-2-2・700 オーク200ビル 2番街7階)

人数・条件 定員20人(申込先着順) 15～39歳の若者対象 参加費無料

申込方法 FAX・Eメールはがきにてお申込みください ※講座名・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号(FAX番号)を明記のこと 締切:10月14日(金) はがきは当日消印有効

お問合せ先 〒530-0001 北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル 4階
FAX 06-6344-2677
Eメール info@connections-osaka.com (担当:水井)

「多文化にふれる えほんのひろば2016」 ～出会ってわくわく! いろんなおはなし、世界のいろんなおともだち～

NPO法人 おおさかこども多文化センター

<http://okotac.org/>

日本の絵本・外国の絵本、17言語、約750冊が自由に楽しめる「ひろば」です。日本人、外国人、大人も子どもも、絵本をながだち楽しく多文化に出会い、交流しませんか? 外国のお友だちも誘って是非どうぞ!
※いろいろな国の文字で名刺を作ろう!、「多言語マルチメディアDAISY絵本体験」等のコーナーもお楽しみください

日程 10月15日(土) 午前11時～午後4時
10月16日(日) 午前11時～午後3時30分

場所 大阪市立中央図書館 5階(西区北堀江4-3-2)

※地下鉄「西長堀」駅の号出口すぐ

人数・条件 どなたでも 参加費無料

申込方法 事前申込み不要 開催中出入り自由です

お問合せ先 Eメール osakakodomo.ehon@gmail.com (担当:梨木・村上)

『阪急阪神 未来のゆめ・まち基金』 第8回助成プログラム

阪急阪神ホールディングス株式会社

<http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

《応募説明会》助成応募にあたり、応募説明会を実施します。できるだけご参加ください。
日時:10/4(火) 午後6時30分～7時30分(開場:午後6時)
会場:市民活動スクエア(CANVAS(キャンパス)台町)(中央区谷町2-2-20 2階)
※必ず事前に以下のページよりお申込みください
http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/

募集分野 (A)「地域環境づくり」 (B)「次世代の育成」

募集部門 「部門Ⅰ」40万円を助成 「部門Ⅱ」80万円を助成

応募方法 応募書類一式、正本1部を助成事務局(大阪ボランティア協会)まで、郵送または持参してください※詳しくはHP(http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/)より「募集要項」をダウンロードしてご確認ください
応募期間 9/26(月)～11/4(金)午後5時必着

お問合せ先 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 TEL 06-6809-4901
Eメール office@osakavol.org (担当: 桜木(むくのき)・永井)

2017年度 JT NPO助成事業

日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室

<https://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/entry/index.html>

JTIはより良い社会を築いていくためには、地域コミュニティの再生と活性化を推進することが重要と考えています。法人格を有して1年以上の活動実績を有する非営利法人が2017年度(2017年4/1～2018年3/31)に実施を計画する「地域コミュニティの再生と活性化」に取り組む事業を支援します。

対象事業 活動分野は問いませんが非営利法人が日本国内において実施する、地域コミュニティの再生と活性化につながる事業を対象とする ※地域に根差した活動で、多様な年代層を対象とした取り組みを優先します 詳しくはHPをご参照ください

助成金額 1件あたり年間最高150万円まで(45件程度)

申請方法 HPより応募書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、添付書類とともに郵送してください
添付書類等の詳細はHPにてご確認ください 締切:10月20日(木) 必着

お問合せ先 〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1
TEL 03-5572-4290 FAX 03-5572-1443

当事者本人「生の声」での講演会 『～過去・現在・未来～ 自分らしくあるために』

Life hospitality management service

<http://lhms.jp/>

性同一性障がい当事者「生の声」での講演会で、見えない過酷な人生問題について、「どのような苦労があるの?」、「どのように生活しづらいの?」、「どのような社会の障がいがあるの?」などを紹介させていただきます。

日程 10月29日(土) 午前10時30分～午後4時30分(開場:午前10時)

場所 大阪市立中央会館2階 第4会議室(中央区島之内2-12-31)

※地下鉄「長堀橋」駅6番出口より徒歩7分

人数・条件 定員35人(申込先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・HPの申込専用フォームにて
※郵便番号・住所・氏名(団体名)・連絡先をお知らせください

お問合せ先 TEL 080-8322-5530 FAX 06-7635-8664
Eメール info.lhmservice@gmail.com (担当:山崎)

2016年度 花王・みんなの森づくり活動助成

公益財団法人 都市緑化機構 みんなの森づくり事務局

<https://urbangreen.or.jp/>

緑豊かな環境を次の世代の子どもたちに引き継ぎ、緑との触れ合いを通して、子どもたちの豊かな心を育てていくため、身近な緑を守り育てる活動と、子どもたちが緑と触れ合う機会を創出する活動に取り組む市民団体を応援します。

対象 ①国内で身近な緑を守り、育てる活動(森づくり活動)に取り組んでいる団体
②国内で緑地をフィールドに緑とふれあい、環境保全の心を育む活動(環境教育活動)に取り組んでいる団体

助成金額 1・2年目各50万円、3年目25万円を上限に助成(15～20団体を予定)

応募方法 HPより申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ必要資料等を添えて、郵送してください 詳細はHPをご覧ください 締切:10月14日(金) 当日消印有効

お問合せ先 TEL 03-5216-7191 FAX 03-5216-7195
Eメール midori.info@urbangreen.or.jp

〜海外から日本へ〜 大阪の高校に学ぶ 若者たち

Vol.4



このコーナーでは、出身国の文化・習慣・言語とは異なる大阪の高校で、海外から来日・帰国して学んでいる高校生を紹介します。日本語の壁を乗り越えながら、教科を学び、友だちを作り、部活動などを懸命にがんばって、学校生活を送る若者たち。複眼的視野をもった彼らが毎号1人ずつ登場します。
(協力:NPO法人 おおさかこども多文化センター)

2 歳になったとき、私と家族はエクアドルという国に移住しました。その後、9 年半エクアドルで生活し、日本へ再び帰ってくるようになりました。そこで私が最も衝撃を受けたのは、生活水準の差でした。明らかに、エクアドルの人々の生活水準は、日本に比べて低かったのです。日本での当たり前と、エクアドルでの当たり前が全然違うことに、帰ってきたばかりのころは戸惑ってしまいました。今、私は途上国と先進国の格差を無くすために大学へ進学し、学びたいと思っています。

エクアドルのフリーマーケットで、肉はハエが群がった状態で売られていましたが、日本では必ずきれいに梱包された状態で売られています。それらが病気や環境汚染の元となっているのです。このような生活水準に対しての意識の低さから引き起こされている、途上国の生活における問題を研究し、解決策を見つけたいと思っています。

オラ メ ジャモ
Hola!Me llamo
Rui Miyabe.

(やあ!僕の名前は宮部琉衣です)



プロフィール

みやべ るい
宮部 琉衣(エクアドル) 高校3年生
好きなこと:アウトドア

市民活動に関する総合相談窓口

- ①あらゆる市民活動における課題全般に関する相談や問い合わせに応じます
- ②コミュニティビジネスなどの起業を志す市民の方や、既に活動中の事業者の方からの、起業・運営などに関する相談・問合せに応じます

常設相談窓口 (ご予約の必要はありません)

相談窓口 大阪市ボランティア・市民活動センター内

開設日時 月曜～金曜日 午前9時30分～午後8時30分
(相談受付:午後7時30分まで)
土曜日 午前9時30分～午後5時
(相談受付:午後4時30分まで)
日曜・祝日・国民の休日と年末年始
(12月29日～1月3日)は除く

必要に応じて、CB専門相談(税務、労務、コンサルティングなど専門家による相談)へおつなぎすることもできます。まずはご相談ください。※福島区、浪速区、西区、淀川区をのぞく

企業・NPOによる交流会 “異次元”

交流ライブを開催します

今回のテーマは
「学生のボランティア活動!」

市内の高校生や大学生のボランティア活動の様子を聞いて、地域課題の解決のヒントや協働のタネを見つけましょう!

日時 9月21日(水)午後3時～5時

会場 東住吉区社会福祉協議会 /
東住吉区ボランティア・市民活動センター
(東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター3階)

対象 今回のテーマや、社会貢献・地域貢献活動に関心のある企業・NPO・地域団体・学校・福祉施設。
※NPOとは、NPO法人の他、ボランティア団体も含みます。

定員 30人(先着) 無料

申込/問合せ先:大阪市・ボランティア市民活動センター(電話・FAX・E-mail)はP.14参照
※本事業は、「平成28年度大阪市市民活動総合支援事業」により実施します

サロン 開催情報

“一見さん”大歓迎の
交流定例会！
一度楽しい雰囲気
のをぞいてみては？

サロンにし (毎月開催)

- 9月の出会い: 9月18日(日) 午前10時～午後1時
- 内容: 『第2回 西区スリーアイズ大会を観戦・応援しよう!!』
- 場所: 西スポーツセンター(西区立売堀4-10-18)
- 問合せ: 090-3949-6973 (宮脇)

サロンあべの (毎月第3土曜日)

- 9月の出会い: 9月17日(土) 午後1時～4時
- 内容: 『防災対応クロスロードゲーム
～さあ みんなで考えよう!!～』
- パネラー: 岡本 正敏 さん(安心だネットグループ 代表)
- 場所: 育徳コミュニティセンター2階 研修室
(阿倍野区阪南町5-15-28)
- 10月の出会い: 10月10日(月・祝) 午後1時～5時
- 内容: 『あべのカーニバル』にて、バザー店『さろん亭』を出店します
- 場所: 大阪市立工芸高等学校グラウンド内(阿倍野区文の里1-7-2)
- 問合せ: 06-6691-1028 (富田)

サロンひがしなり (毎月第3土曜日)

- 9月の出会い: 9月17日(土) 午後1時30分～3時30分
- 内容: 『大阪の歴史を学ぼう! ～古事記と大阪～』
- パネラー: 森口 隆次 さん(元・大阪市立博物館 館長)
- 10月の出会い: 10月15日(土) 午後1時30分～3時30分
- 内容: 『笑って元気に楽しく過ごしましょう!』
- パネラー: 岡本 笑美子 さん(笑いヨガティーチャー)
- 場所: 東成区在宅サービスセンター(東成区大今里南3-11-2)
- 問合せ: 06-6977-6336 (東成区ボランティア・市民活動センター)

※参加費は記載がない限り無料です。

サロン淀川 (毎月第3日曜日)

- 9月の出会い: 9月17日(土) 正午～午後5時
- 内容: 『区民まつりで地域のコミュニケーション創りを』
・ふれ愛の場で「手作りおもちゃ作り」、「おもちゃ病院」、
模擬店で「ポップコーン」など、楽しく過ごしませんか?
- 場所: 大阪市立淀川区民センターグランド
「淀川区社会福祉協議会」ふれ愛コーナー(淀川区野中南2-1-5)
- 問合せ: 06-6394-2900 (淀川区豊かな協働推進センター)

サロンつるみ (偶数月 第1日曜日)

- 10月の出会い: 10月9日(日) 午後1時30分～4時
- 内容: 『折り紙教室～シリーズ第3回目: 今度は球体を折ります～』
- パネラー: 石川 千代子 さん
- 場所: 大阪市立鶴見区民センター(鶴見区横堤5-3-15)
- 問合せ: 06-6913-7070
(鶴見区ボランティアビューロー)

サロンアイ (毎月開催)

- 9月の出会い: 9月25日(日) 午前9時30分～午後5時
- 内容: 『小さな旅～出町柳周辺散策～ 下鴨神社・紅の森・半木の道』
- 集合場所: 京阪電車「天満橋」駅 地下東改札口前(午前9時30分集合)
- 持ち物: 弁当・飲み物・雨具・シートなど
- 10月の出会い: 10月8日(土) 午後1時30分～4時
- 内容: 『第2弾 生野区の民話について』
- パネラー: 一期一会の皆さん
- 場所: 生野区在宅サービスセンター2階 ボランティアルーム
(生野区勝山北3-13-20)
- 問合せ: 06-6712-3101 (生野区ボランティア・市民活動センター)

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。

- アンケートにご協力にいただいた人の中から抽選で5人様に**記念品**をプレゼントします。
- 必要事項を記入し、FAXか、ハガキで当センターまでお送りください(宛先は左記参照)。PC・スマホからも回答できます。

PC・スマホからの 回答はコチラから!

<https://ws.formzu.net/fgen/S38892286/>

PC・スマホ共用フォーム



キリトリ

※ケータイからのアクセスでは一部正しく表示されない機種があります。その場合は恐れ入りますがパソコンからのアクセスをお願いします。

※締切日: 2016年10月10日(消印有効)
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてのご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人が特定される記載は行いません。

■あなたのボランティア活動歴を教えてください。

①なし ②1年未満 ③1～4年 ④5～9年 ⑤10年以上

■あると答えた人は活動内容を覚えていて範囲で簡単に教えてください。

■今月号を読んでいかがでしたか。(ひとつ)

①活動に興味・関心がわいた
②活動を探してみた
③活動に取り組んでいる活動の参考になった
④既に取り組んでいる活動の参考になった
⑤特になし

■今月号で良かった記事はなんですか? その理由も教えてください。

■本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。

■その他、ご意見、ご感想をご記入ください。

名前: () 性別: (男 ・ 女 ・ その他)
住所: (区)
職業・学生・会社員・自営業・公務員・主婦・無職・その他 ()
年齢: (歳) 電話番号: ()
本誌入手先: 地下鉄 (駅) ・その他 ()
読者歴: ①初めて ②1年未満 ③1～2年 ④3～4年 ⑤5年以上

vol.210

大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

城東支店が地元商店街の夜市に参加

商店街の活性化を目的として地元の城東東商店街が毎年7月の第1・第2土曜日に開催する「夜市」に参加し、写真を缶バッジに加工するコーナーを出店しました。今年も2日間で合計400個以上売れる盛況ぶり、店先では職員がオリジナルバッジの製作に汗を流しました。(売上金は城東商店街振興組合に寄付しました)



昨年に引き続き、2回目の出店となりました

塚本支店が近隣店舗と協力し地元商店街の夜市に参加協力

7月9日(土)、柏里本通商店街で開かれた「サンリバー夜市」に同店と近隣店舗の職員25人が参加協力しました。ヨーヨー釣りや、ダーツなどのコーナーを担当した職員は、この日を楽しみに待ちわびていた子どもたちを商店街の方々と迎え入れ、楽しい夏の思い出づくりに一役買いました。



子どもたちで賑わいのヨーヨー釣りコーナー



おとわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み・掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

専用フォームから情報をお寄せください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S53168917/>



申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvic@osakacity-vnet.or.jp (担当: 瀧辺・荒野・縄)

※本誌の発行日は6月と12月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望発行月の前々月末日とします。

(例: 平成28年11月15日発行号(12・1月合併号)に掲載希望の場合は9月末まで)

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

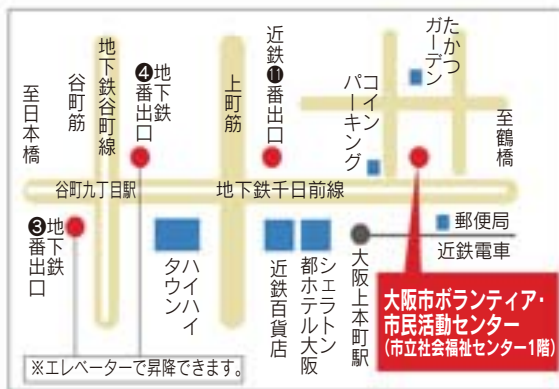
所在地/〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ ocvic@osakacity-vnet.or.jp

<http://www.osakacity-vnet.or.jp>

- 開館時間: 午前9時30分～午後8時30分
(土曜日は午後5時まで)
- 休館日: 日・祝・国民の休日・年末年始
- 発行日: 2016年9月15日(6月と12月を除く毎月15日発行)
- 発行部数: 40,000部
- 制作協力: 東洋紙業高速印刷株式会社



本誌は大府府共同募金会の助成をいただいています

「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.lekumo.biz>

大阪市営地下鉄(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン東 各駅)、近鉄電車(大阪難波・阿部野橋・大阪上本町 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商工会連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバシアン地区の小学校の児童から送られた絵。
「わたしたちも守って!」という動物たちのメッセージも込めて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木質を少しでも削減に貢献したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで、地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を支えること。
地元の子どもたちの明るい笑顔を目にして、私たちは、これから、未来を育む活動につづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.msadns.co.jp

ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください

区名	所在地	電話番号	FAX(03)
北	北区新山町15-11 北区在宅サービスセンターいさい恵ネット	6319-5566	6319-2921
板橋	板橋区板橋本町3-12-31 ふれあいセンター板橋	6329-9500	6329-9504
浦和	浦和区野上16-2-22 ふれあいセンター	6454-4553	6454-6331
比叡	比叡区伝馬3-2-27 比叡ふれあいセンター	6452-1224	6452-1984
中央	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西	西区新町4-5-14 西区在宅サービスセンターにしがけまり	6539-8075	6539-8073
豊	豊区井原2-15-1 豊区在宅サービスセンターひまわり	6575-1212	6575-1025
大正	大正区神田1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺	天王寺区六万 新町5-26 天王寺区在宅サービスセンターゆうあい	6774-3377	6774-3399
東池袋	東池袋区東池袋4-3-8 東池袋区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6023
西池袋	西池袋区千本2-7-7 西池袋区在宅サービスセンターふくふく	6478-2941	6478-2945
池袋	池袋区三軒茶屋2-14-3 池袋区在宅サービスセンターやすらぎ	6394-2900	6394-2978
東池袋	東池袋区豊原4-4-37 東池袋区在宅サービスセンターはるあき	6370-1630	6370-7330
東成	東成区大田原3-11-2 東成区在宅サービスセンターひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野	生野区国分寺13-13-20 生野区在宅サービスセンターおがちみ	6712-3101	6712-3001
旭	旭区調布5-16-1 あさひの郷センター	6957-2200	6957-7222
城東	城東区中央2-11-16 城東区在宅サービスセンターゆうゆう	6936-1153	6936-1154
世田谷	世田谷区田原5-4-6 世田谷区在宅サービスセンター	6919-7070	6919-7676
阿部	阿部区西阿部山1-3-8 阿部区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
世田谷	世田谷区神宮寺4-6-10 世田谷区在宅サービスセンターさざなみ	6686-2234	6686-0400
世田谷	世田谷区東1-8-47 世田谷区在宅サービスセンターいさよ	6607-8181	6692-8819
東世田谷	東世田谷区成田2-10-18 さつがセンター	6628-2020	6622-8973
中野	中野区中野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成	西成区北条1-5-20 西成区在宅サービスセンターはぎのさと	6656-0060	6656-0063